平成20年第3回
美唄市議会定例会会議録
平成20年9月30日(火曜日)
午前10時21分 開会

◎議事日程

- 第1 議席の変更及び指定の件
- 第2 常任委員会委員選任の件
- 第3 美唄市地域医療問題調査特別委員会委員選任の件
- 第4 美唄市基本問題調査特別委員会委員の定数変更及び選任の件故障
- 第5 会議録署名議員の指名
- 第6 会期決定の件
- 第7 諸般報告
- 第8 議長報告
- 第9 市政報告
- 第10 報告第15号 例月出納検査結果報告
- 第11 報告第16号 例月出納検査結果報告
- 第12 報告第17号 例月出納検査結果報告
- 第13 報告第18号 例月出納検査結果報告
- 第14 報告第19号 例月出納検査結果報告
- 第15 報告第20号 定期監査報告
- 第16 報告第21号 平成19年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件
- 第17 議案第57号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件
- 第18 議案第58号 美唄市認可地縁団体印鑑条例等の一部改正の件
- 第19 議案第59号 美唄市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更の件
- 第20 議案第60号 美唄市土地開発公社定

款の一部変更の件

- 第21 議案第61号 北海道市町村備荒資金組合規約の一部変更の件
- 第22 議案第62号 美唄市消防団員等公務災害補償条例の一部改正の件
- 第23 議案第63号 平成20年度美唄市一般会計補正予算(第4号)
- 第24 議案第64号 平成20年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第2号)
- 第25 認定第1号 平成19年度美唄市一般会計決算認定の件
- 第26 認定第2号 平成19年度美唄市民バス会計決算認定の件
- 第27 認定第3号 平成19年度美唄市国民健康保険会計決算認定の件
- 第28 認定第4号 平成19年度美唄市老人保健会計決算認定の件
- 第29 認定第5号 平成19年度美唄市下水道会計決算認定の件
- 第30 認定第6号 平成19年度美唄市土地区画整理事業会計決算認定の件
- 第31 認定第7号 平成19年度美唄市介護保険会計決算認定の件
- 第32 認定第8号 平成19年度美唄市介護サービス事業会計決算認定の件
- 第33 認定第9号 平成19年度市立美唄病院事業会計決算認定の件
- 第34 認定第10号 平成19年度美唄市水道事業会計決算認定の件
- 第35 認定第11号 平成19年度美唄市工業用水道事業会計決算認定の件

◎出席議員(16名)

議長 林 国 夫 君

副議長 内馬場 克 康 君
 1 番 吉 岡 文 子 君
 2 番 森 川 明 君
 3 番 五十嵐 聡 君
 4 番 高 田 正 則 君
 5 番 高 橋 幹 夫 君
 6 番 阿 部 義 一 君
 7 番 長谷川 吉 春 君
 8 番 米 田 良 克 君
 9 番 白 木 優 志 君
 10 番 小 関 勝 教 君
 11 番 土 井 敏 興 君
 12 番 本 郷 幸 治 君
 13 番 紫 藤 政 則 君
 15 番 谷 村 孝 一 君

選挙管理委員会事務局長 大 道 良 裕 君

農業委員会会長 佐 藤 博 道 君
 農業委員会事務局長 山 崎 一 広 君

監 査 委 員 川 村 英 昭 君
 監 査 事 務 局 長 嵯 峨 和 樹 君

◎事務局職員出席者

事 務 局 長 藤 井 英 昭 君
 次 長 中 平 匡 司 君

◎出席説明員

市 長 桜 井 道 夫 君
 副 市 長 佐 藤 昭 雄 君
 総 務 部 長 板 東 知 文 君
 市 民 部 長 岩 本 良 一 君
 保健福祉部長兼福祉事務所長 中 川 直 紀 君
 商工交流部長 岡 嶋 博 文 君
 農 政 部 長 林 信 孝 君
 都市整備部長 山 口 隆 慶 君
 市立美唄病院事務局長 奥 山 隆 司 君
 総務部総務課長 小 橋 一 夫 君
 総務部総務課総務係長 村 上 孝 徳 君

教育委員会委員長 白 戸 仁 康 君
 教育委員会教育長 村 上 忠 雄 君
 教育委員会教育部長 安 田 昌 彰 君

選挙管理委員会委員長 熊 野 宗 男 君

午前10時21分 開会

●議長林 国夫君 ただいまより、本日をもって招集されました平成20年第3回美唄市議会定例会を開会いたします。

この場合、先に行われました、美唄市議会議員補欠選挙において、当選の榮譽を得られました、高田正則議員をご紹介いたします。自席で自己紹介をお願いいたします。

●高田正則議員 美唄市西2条南2丁目1番14号に住んでおります、高田正則でございます。よろしくをお願いいたします。

●議長林 国夫君 次に、市長並びに農業委員会会長から発言を求められておりますのでこれを許します。

初めに市長。

●市長桜井道夫君（登壇） 皆様おはようございます。

このたびの市長選挙におきまして、市民の皆様のご支援をいただき、再び市政を担当させていただくことになりました。

改めてどうぞよろしくお願いいたします。

●議長林 国夫君 次に、農業委員会会長。

●農業委員会会長佐藤博道君（登壇） おはようございます。発言の機会をいただき、ありがとうございます。

お許しをいただきましたので、一言ごあいさつを申し上げます。

私、4月の農業委員会総会におきまして、再任をされました、農業委員会会長の佐藤でございます。

微力ではありますが、精いっぱい職務に取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。

●議長林 国夫君 これより本日の会議を開きます。

この場合、説明員の欠席について、次のとおり通知がありましたので、報告いたします。

消防長佐藤賢治君は、都合により欠席いたします。

●議長林 国夫君 次に日程の第1、議席の変更及び指定の件を議題といたします。

今回新たに当選されました、高田正則議員の議席の指定に関連し、議席の変更及び指定を行いたいと思います。

お諮りいたします。

高橋幹夫議員の議席を4番から5番に変更し、高田正則議員の議席を4番に指定したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

●議長林 国夫君 次に日程の第2、常任委

員会委員選任の件及び日程の第3、美唄市地域医療問題調査特別委員会委員選任の件の以上2件を一括議題といたします。

お諮りいたします。

このたび新たに当選されました、高田正則議員を委員会条例第8条第1項の規定により、総務・文教委員会委員及び美唄市地域医療問題調査特別委員会委員に指名をいたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました、高田正則議員を総務・文教委員会委員及び美唄市地域医療問題調査特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

●議長林 国夫君 次に日程の第4、美唄市基本問題調査特別委員会委員の定数変更及び選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。

美唄市基本問題調査特別委員会の委員定数は、15人となっておりますが、これを16人に変更し、委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、新たに高田正則議員を指名いたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、美唄市基本問題調査特別委員会の委員定数を16に変更し、ただいま指名いたしました高田正則議員を美唄市基本問題調査特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

●議長林 国夫君 次に日程の第5、会議録署名議員を指名いたします。

15番 谷村孝一議員

1番 吉岡文子議員

を指名いたします。

●議長林 国夫君 次に日程の第6、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日より10月21日までの22日間とし、うち10月1日及び10月2日、10月4日及び10月5日、10月7日ないし10月20日を休会といたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

●議長林 国夫君 次に日程の第7、諸般報告に入ります。

諸般報告については、朗読を省略いたします。

諸般報告について質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって、諸般報告を終わります。

●議長林 国夫君 次に日程の第8、議長報告に入ります。

議長報告についても朗読を省略いたします。

議長報告について質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって、議長報告を終わります。

●議長林 国夫君 次に日程の第9、市政報告に入ります。

市長。

●市長桜井道夫君(登壇) 平成20年第3回市議会定例会にあたり、市政の主なものについてご報告申し上げます。

はじめに、時間外勤務手当等請求上告事件の決定について申し上げます。

道内の公立学校に勤務する教職員が上告人となり、北海道並びに道内93市町村長を被上告人とした、時間外勤務手当等の支払いを求める上告事件につきまして、去る8月27日に最高裁判所の決定がなされました。

内容といたしましては、本件上告を棄却する。本件を上告審として受理しない。上告費用及び申立費用は上告人兼申立人らの負担とする。というものであり、本件訴訟につきましては、終結いたしました。

次に、平成21年度から平成23年度までの公立高等学校配置計画について申し上げます。

去る9月2日、北海道教育委員会から公立高等学校配置計画が発表され、平成22年度に美唄工業高等学校建築科の募集停止が示されるとともに、平成23年度には美唄高等学校と美唄工業高等学校を再編し、総合学科による5間口の新しい学校を設置する考え方が示されました。

市としては、昨年度から市内高校の今後のあり方について、美唄市高校問題等対策協議会において協議を重ねてきました。その結果、間口については5間口以上、両校の施設設備

を有効に活用する産業キャンパス化、及び学校体制については、「総合学科」と「学科集合型」を併記し、それぞれに条件を付記した要望書としてまとめ、8月28日、北海道教育委員会へ提出いたしました。

今後とも要望書について、北海道教育委員会と協議し、その実現に向け努力して努めてまいります。

以上申し上げまして報告を終わります。

●議長林 国夫君 これをもって市政報告を終わります。

●議長林 国夫君 次に日程の第10、報告第15号例月出納検査結果報告ないし日程の第15、報告第20号定期監査報告の以上6件を一括議題といたします。

これより本件について一括質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって、報告第15号ないし報告第20号の以上6件の一括質疑を終わります。

●議長林 国夫君 次に、日程の第16、報告第21号平成19年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件を議題といたします。

本件に関し、報告の説明を求めます。

市長。

●市長桜井道夫君(登壇) ただいま上程されました、報告第21号平成19年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件についてご説明申し上げます。

本件は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項

の規定に基づき、平成19年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の審査意見を付して報告するものであります。

初めに、健全化判断比率は、実質赤字比率が1.4%、連結実質赤字比率が24.15%、実質公債費比率が23.1%、将来負担比率が296.8%となりました。

次に、資金不足比率は、市立美唄病院事業会計が191.7%となりましたが、水道事業会計、工業用水道事業会計、下水道会計については、資金不足額がないため、比率としては算出されないものでございます。

平成20年度決算から早期健全化基準及び財政再生基準が適用されますが、平成19年度の連結実質赤字比率については、市立美唄病院事業会計の累積不良債務等により、本市における早期健全化基準18.49%を上回っております。

また、市立美唄病院事業会計については、平成20年度から適用される、経営健全化基準20パーセントを大きく上回っております。

このため、今年度、公立病院特例債を確保し、早期健全化団体になることを回避すると共に、公立病院改革プラン及び自主的な財政健全化計画を策定し、持続可能な自治体経営を目指して取り組んでまいります。

●議長林 国夫君 これより本件について質疑を行います。

13番、紫藤政則議員。

●13番紫藤政則議員 ただ今、報告第21号の説明があったわけでございます。

新しい法律ができて、議会報告というのは

初めての扱いでして、提案する側もそれからそれを受けて、共通の理解を深める議会としても緊張感をもって望まなきゃならない、こういう報告事案であると、私はそういうふうに考えているわけで、私なりにこの報告のあるべき形と言いましょうか、これがどういう報告の仕方がいいのだろうかということを、実は悩みながら議案の事前送付を受けたわけでございますけれども、これは、法律そのものが、地方財政の健全化ということで、第2の夕張をつくらないと、こういうことも主眼としてでき上がったものでございまして、私達議員一人ひとりがこれを理解して、市民の有権者の皆さんに報告責任を果たしうると、このことが大事だろうというふうに思っております。

合わせて議会の報告の後、なされる市民公表ですが、これは健全化法が意として、美唄の憲法であります、まちづくり基本条例やら、いわば財政運営に関する目的、これらに合致した、そういった視点で、受けての視点で作られたものなのかどうかと、このことについても、やはりこのスタートに当たって、確認をしていく必要があると、そんな立場で質疑をさせていただきたいと思えます。

最初に、この議会報告と、その後行われます法律に定めがあります市民公表と、目的は何のために行われるのかということについて、市長はどのような認識をお持ちなのかお答えをいただきたいと思えます。

地方公共団体の財政健全化に関する法律の第1条に目的が定められておりまして、結論を言えば、財政の健全化に資していくと、こういうことですが、個別規定の中にあるま

す、何のためにこの部分だけを報告をするのか。議会に報告をする、そして市民の皆さんに公表していくと、財政事情の公表については、既に地方自治法の中で定められておりまして、美唄は公告式条例を使いまして、それぞれ知恵と工夫を凝らして、わかりやすい財政事情の公表がなされているわけですが、この部分を取り上げて、市民公表をしなければならない義務規定を設けたということについての認識をまずお伺いしたいと思えます。

2点目ですが、今回の比率です。先ほど報告にございましたように、4つの健全化比率と1つの病院会計のみですが、資金不足比率です。これらを算定し、議会に提出をすると、報告をするこの間の経過です。病院は出納整理はありませんから、3月で年度が終了する、一般会計を含める普通会計については出納整理期間がありますので、5月で出納整理をして、その後、6月1日から決算の調整、会計管理者が決算調製をなさる、長に決算報告がなされて、財政分析をされるわけです。決算統計、財政分析をされる、監査はそれらの長から求められた法律に基づく監査の作業をして、意見書をしたためると、それを添付して今回の議会の報告と、こうなるわけですが、この辺、手順を含めてどういう経過で報告までに至ったのかということをお示しいただきたい。

それと合わせて、市民公表が、これは、速やかにかという表現になっていると思うんですけども、この公表がなされるわけですが、この公表のどんな内容で、どういう方向で行なわれるのか、市民公表に関しましては、こ

れは、ニセコにいい例がございまして、ニセコは既にこの健全化判断比率、この指標に関して、2005年度決算からこの判断比率の推計値の作業に入っております、2007年度予算、昨年度の予算の市民向けの「もっと知りたい今年の仕事」というのを別冊で各戸に配布をしている、その中で、この解説について試みています。

わかりやすい表現であると共に、今後、この指標をどう受けとめて、どうしたらいいのかということにも触れています。そして、管内の各自治体の指数比較もその中で示しているわけです。市民有権者の皆さん方が見てわかる、共通の問題意識を持ちうるような内容で、取り組みをされているという、そういう先例、いい例があるわけですし、これらの状況を承知されておられると思いますけれども、美唄市として、どのような市民公表をするおつもりなのか、その点お答えをいただきたいと思います。

次に、3つ目ですが、監査意見のあり方について見解をお尋ねしたいと思います。

法律によりますと、長は監査に対して、監査が監査できうるような体制を整えて、その書類等も示されて、そして、この判断比率が妥当なのかどうかというチェックを監査に求めるわけです。

合わせて、その監査結果と合わせて監査意見というのを求める。今回の監査意見を見させていただきますと、比率の数字そのものが妥当であるかどうか、これは全て適正に作成されているということが書いております。意見として出されているのは、適正に作成されているという表現、総合的意見、個別意見で

は、早期健全化基準なり何なりの基準に下回るか上回るかという表現ということにとどまっているわけでございます。

私は、私の立場で監査意見というのがどうあるべきかということ、これは、僭越な発言になろうかと思えますけれども、これではいかがかというふうに思っております。この数値が正しいかどうかということは、根っこの分母分子が正しく数値が当てはまっています、割り算が正しく行われたかどうかということ、この数値がどうしてできたのかという、要因の分析やら、今後の改善事項等の、こういった意見というものもあって初めて私は監査意見と呼ぶにふさわしいものになるのではないかと考えて持っているわけなんです。

美唄市でも決算の監査審査意見書、これらにも総括概括的な表現でありますけれども、そういった視点で意見表明がなされているわけです。これについて監査意見を求める長として、この意見書を手にされて、今議会に示されているわけですが、あるべき意見書に関してどのようなご見解を持っておいでになるか、お答えをいただきたい。

中身については今、どういう趣旨なのかということについては今お話のとおりですから、市長としてのご見解をいただきたいというふうに思っております。

4点目ですが、これは長が最初に比率の算定をするわけですが、先ほどの監査意見と符号しますけれども、なぜこの数字になったのかという基礎です。

今朝、開会前に議会運営委員会が急遽開かれまして、事前送付になった報告に関わる審

議すべきこの書面、これプラス積算の基礎と管内各市の状況というのは今朝示されたんです。私は、これらの積算の基礎、これらについてやはり私どもが検証できうる内容で、報告をすべきだろうという考え方に立っております。

今回、当日配布ということになりましたけれども、出されたということに関しては評価をさせていただきたいと思うんですけれども、これらの積算の根っここと合わせまして、なぜこういう数値になったのかという、先ほどの監査の意見に対する所見を求めましたが、同様の趣旨で要因の分析と今後どのようにしていくのかということに関する、そういった取り組みが私はなされるべきではないかというふうに思うんです。

この辺、報告に当たって、市長としてどのように考えておられるのか、お示しいただければというふうに思います。

最後の質疑になりますが、この報告に先立ちまして、北海道新聞の9月の18日付けの記事に、報告の内容を先取りした内容が出されております。この内容を見ますと、180の市町村の中で、11市町村が早期健全化団体となる可能性が高いという事が書かれておりました。

先ほどの市長の提案の説明の中にも、08年度、平成20年度の決算で、早期健全化団体にはならないための方策が公立病院特例債というようなこととお話されて、この道新の報道でも、美唄は24.1という数値が連結実質赤字で出されておりますが、早期健全化団体のところは空白になっています。

市民の皆さんからお尋ねされる場合が多

いんですけれども、市長として、北海道新聞のアンケート、これは書類によるものと、その後、それをカバーする為の口頭でのやりとりもあったかと思うんですが、こういった回答をされているかですね、要点で結構ですから、合わせて報告にもあった通り、早期健全化団体にはならないと、08年度に関して、そういうことを市民の皆さんに説明を私どもがしてよろしいのかどうなのか、この辺、お答えいただきたいと思います。

以上5点よろしくお願い申し上げます。

●議長林 国夫君 市長。

●市長桜井道夫君 紫藤議員の質疑にお答えいたします。

初めに、健全化判断比率の議会報告と市民公表の目的についてであります。地方分権が進む中で、地方自治体は議会及び住民の監視のもとで、財政規律を確保し、健全な財政運営を行うことがより一層重要となっております。このため、地方財政健全化法においては、健全化判断比率について報告、公表の義務を定めているものでございます。

次に、経過についてであります。7月2日が空知支庁の説明会、8月12日が道への算定書類の提出、9月2日が道の最終検収となり、また、監査委員へは7月31日から算定書類を提出し、算定資料の説明、道の検収による修正を重ね、9月5日が最終提出となりました。

その後、9月9日付で審査意見書の提出を受けたところでございます。

また、市民公表についてであります。9月議会の報告に合わせ、法令に基づき、インターネットの利用や、市役所などでの閲覧の

方法により公表するほか、財政事情説明書に掲載するなど、わかりやすい内容で公表したいと考えております。

次に、監査についてであります。法に基づく財政指標の審査は、算出した指標が法令等に基づいて算定されているかなど、客観性・適正性を担保するために行われるものと考えております。

次に、議会報告についてであります。算定資料や他市の状況なども合わせて提出していきたいと考えております。

最後に、新聞報道についてであります。平成20年度決算から早期健全化及び財政再生団体の基準が適用されますが、平成19年度決算の連結実質赤字比率が本市における早期健全化基準を上回っている為、今年度公立病院特例債を確保し、早期健全化団体なることを回避したいと考えております。

いずれいたしましても、市立美唄病院の不良債務の計画的な解消が財政健全化の大きな課題であることから、公立病院改革プラン及び財政健全化計画を策定し、持続可能な自治体経営を目指して取り組んでいきたいと考えております。

●議長林 国夫君 13番、紫藤政則議員。

●13番紫藤政則議員 その市民公表に関しては、わかりやすいということを準備されていると、ホームページも使うということでございます。わかりやすいのは、出す側がわかりやすくても、受け止める側がわかりづらいというものもございますから、従来、財政事情等を各自治会等にご説明したり、個別に出前講座等でお取り組みをされている、そういったときに、どんな反応があったのか私は知

りませんけれども、ぜひ受け手の側に立って作っていただきたいと、美唄の現状がなぜこうなったかと、合わせて、今後、どのようにしていくのか、財政の健全化につながっていくんですよという事を共に共通の情報として、認識として持ちうるように、そういったものにしていくためには、私先ほど先例としてお示ししたニセコ町の扱いです。市長は読まれたか、目を通されたかどうかわかりませんが、ぜひご自分でしたためるような気持ちで対応していただだけませんか。

それと公表に関しての扱い、それから議会報告に関する扱いに関して、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の中に、総務省令という表現も出て来ているんです。私総務省令見ておりませんが、総務省令にいろいろ書いてあるのかもしれませんが、しかし、これは先ほどのお答えにありましたけれども、自治体がどうしていくかということオリジナルティを持って組み立てていくと、議会の報告にあたっては、市民公表にあたっては、そのことが私は求められている。従来の準則等で、国がやり方を示すということではないという法律だという認識なんです。違っていましたらご指摘をいただきたいと思いますが、ただ、先般桂沢の企業団議会での打ち合わせがあつて行った時に、そこは定例会というのが9月は持たれないんですけれども、年3回なんです。

例えば、今回、市長選挙がありまして、9月の30日ぎりぎりに9月3定の招集日というふうになったわけですが、他の自治体は既に定例会が終了している状況だと思います。速やかに仮に報告をするという1

項目とりましても、速やかというのは、どの時点を指すんだらうかと、議会が開会されていない場合は、桂沢の例でいきますと、議長に対して報告をすると、議長に対して報告をすればいいという理解にたっているんですね。合わせてそれで市民公表もしていくというようなことだそうです。そういう表現になっておりました。

議会の側としても、これは議長サイドで議論をすることになるらうかと思えますけれども、受けたものをどのように対応するのがいいんだらうかという部分で、これも双方番号を合わせておかなければならん。監査の作業も同様でありましょうし、私はこの公表に当たってのルールをお互いが確認しておく必要があるんじゃないかと思うんです。

これは、財政運営に係る財政の公表等を示した財政基本条例的なものがあるのが一番いいのかもしれませんが、しかし、そこまでいなくても取扱要綱、これは、作っておくべきだらうと思うんです。この辺、市長の考え方をお尋ねしたいと思うんです。

それからもう1点、監査意見に関して、客観性ともう一つは説明性と言ったかな、ここに出されている監査意見というのは、コメントしないという趣旨にとられたんですけど、長として。ご答弁の中身は。監査意見というのは何で求めるんでしょうか。数字が下回っていると上回っているとか、これは意見なんですか。監査には財務監査と行政監査という2通りがあると承知していますがけれども、この辺、監査意見を長として受けて、その意見に対して見解を持ってなきゃならない、是正すべきものは是正するという姿

勢がなきゃならないというふうには思っています。監査意見を書くのが監査委員さんですから、監査委員さんのお考えというふうになるのかもしれませんが、長としてその辺をどう受け止めておられるのかということ、あまり飲み込めないご答弁だったという気がするんですけども、私の理解がそうでないのかどうなのか、その点改めて、そうしなければ、仮に数字はオーケーですよ、下回っているのはこの分だけですよ、ここだけの部分、しかし、市長が先ほどおっしゃったように、連結実質赤字比率に関しても、なぜこうなっているか、今後どうしなきゃいけないのか、将来負担比率についても、これは約標準財政規模の3倍の将来負担比率という数字が出ているわけです。これは、全道の各種の順番、高い方ですね。何番目になるんですか。順番書いていないからわかりませんが、北見がすごい、夕張がひどいですが、江別に引き続く数字ぐらいでしょうか。要因分析も含めて監査の視点で願いますということの認識に立つということは間違いなんですか。

求める側として、どのように考えておられるのか、監査委員の職務権限を侵さない範囲で、どのようなものが望ましいのかということを改めてまたお尋ねをしたいと思います。

●議長林 国夫君 市長。

●市長桜井道夫君 紫藤議員の質疑にお答えします。

1点目の市民公表等のルール化についてでございますが、法令並びにまちづくり基本条例に基づきまして、市民に公表、情報提供すると共に、説明責任を果たし、健全な財政

運営に努めていきたいと考えております。

2点目の監査委員の権限等もございませけれども、それにつきましては、財政指標の多くの部分が、決算情報から提供されるということでありまして、これにつきましては監査委員が主に4つの点を中心に審査を行うものと一般的に言われてございます。

1点目は法令などに照らしまして、財政指標の算出過程に誤りがないか。

2点目は法令などに基づき適切な算定要素が財政指標の計算に用いられているか。

3点目は財政指標の算定の基礎となった書類などが適正に作成されているか。

4点目は、客観的事実の妥当性を判断した上で財政指標の算定を行なう場合において公正な判断が行われているか。

このことから、客観性と適正性の担保が重要であるということで行なわれております。

私どもはこの数値の原因等につきましては、自らも当然原因の解明等も行いながら、これからの財政運営に努めてまいりたいと考えているところでございます。

●議長林 国夫君 13番、紫藤政則議員。

●13番紫藤政則議員 これをやめます。

決算審査なり一般質問等でも議論できることですから、この報告というのは限界がございませるので、報告終わりと、この後なるわけですから。しかし、初物ということで、今のご答弁、まちづくり基本条例なり、法律のルールに基づいて公表していくということは当たり前なんです。私は、ルール化すべきではないですかと言ったんです。書物にしませんさい。要綱でもいいでしょうと。検討しますくらいのことにならないですか。

まちづくり基本条例の先程言いました市政運営の原則であるわけだから、その為に自治の専門スタッフと言われている、我々も自治の専門スタッフだそうなんですよ。あなた方執行側、議会、職員、ここがどれだけ真剣になるかということだと思っんです。この指標いかんでは、美唄がどのようになっていくのか非常に関心を持って注視し、我がことのように関わってもらわなきゃならない。市民お一人おひとりの行政なり議会に対する目というものを厳しく持っていたかなきゃならない、こういう為の財政状況の公表なんですよ。やる気があるかないか問われているんですよ、真剣にこのことを受けて、健全化に持っていこうかと。それも限られた人じゃなくて、全体を巻き込んだものとしてやるということの、その思いがなきゃいけない。私の言っていることはいつも同じようなこと言っていますからわかると思っんです、その辺、これ以上聞きませんから再度お答えいただけますか。

●議長林 国夫君 市長。

●市長桜井道夫君 紫藤議員の質疑にお答えいたします。

今回のことが初めてのケースということで、なかなかその数値のとらえ方にもいろいろ調整に手間取った、このような部分もございませ。しかし、この指標を公表するということが、本当に重要な意味を持ってございませるので、市民にできるだけわかりやすい公表の仕方、今監査委員のこともございませけれども、監査委員のあり方なども、いろんな形でこれからも協議を重ねながら、今回のこの法の意味がやはり、これからの財政運営にし

っかり役立つような方法を講じてまいりたいと考えてございますので、ルール化等につきまして十分検討させていただきます。

●議長林 国夫君 これをもって、報告第21号を終わります。

●議長林 国夫君 次に日程の第17、議案第57号地方自治法の一部改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件ないし日程の第22、議案第62号美唄市消防団員等公務災害補償条例の一部改正の件の以上6件を一括議題といたします。

本件に関し、提案理由の説明を求めます。市長。

●市長桜井道夫君（登壇） ただいま上程されました各案件について、提案理由をご説明申し上げます。

初めに、議案第57号地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件であります。

本件は、地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、議員の報酬の支給方法等に関する規定を他の行政委員会等員の報酬の支給方法等に関する規定から分離したこと、また、報酬の名称が議員報酬に改められたことから、美唄市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例、美唄市特別職の非常勤職員に関する報酬及び費用弁償条例、美唄市特別職報酬等審議会条例、及び美唄市議会政務調査費の交付に関する条例のそれぞれにおいて必要な改正を行うものであります。

次は、議案第58号美唄市認可地縁団体印鑑条例等の一部改正の件であります。

本件は、一般社団法人及び一般財団法人に

関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律により、地方自治法、民法及び公益法人等への一般職の地方公務員の派遣に関する法律等の一部が改正されたことから、美唄市認可地縁団体印鑑条例、公益法人等への美唄市職員の派遣等に関する条例、美唄市産業振興条例及び美唄市職員定数条例のそれぞれにおいて必要な改正を行うものであります。

次は、議案第59号美唄市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更の件であります。

本件は、美唄市過疎地域自立促進市町村計画における交通通信体系の整備に関する施策に必要な事業を追加するため、計画の一部を変更しようとするのであります。

次は、議案第60号美唄市土地開発公社定款の一部変更の件であります。

本件は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律により、民法及び公有地の拡大の推進に関する法律等の一部が改正されたため、定款に定める監事の職務に関わる規定の整備が必要となることから、本市土地開発公社定款の一部を変更しようとするものであります。

次は、議案第61号北海道市町村備荒資金組合格約の一部変更の件であります。

本件は、災害に備えて積み立てている備荒資金組合普通納付金について、財政再生団体になる危険性のある市町村に当該普通納付金を返還できるよう、北海道備荒資金組合格約の一部を変更するものであります。

次は、議案第62号美唄市消防団員等公務災害補償条例の一部改正の件であります。

本件は、株式会社日本政策金融公庫法の施行に伴い、国民生活金融公庫法が廃止されたため、所要の改正を行なうほか、障害者福祉におけるノーマライゼーションの普及啓発の上で、「害」の字がマイナスイメージを与えることから、条例中の障害の「害」の字を平仮名表記に改めるものであります。

よろしくご審議をお願いいたします。

●議長林 国夫君 お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明ありました、議案第57号ないし議案第62号の以上6件については、一括大綱質疑にとどめ、所管の常任委員会に付託の上審査することといたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

これより議案第57号ないし議案第62号の以上6件について、一括大綱質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって、議案第57号ないし議案第62号の以上6件についての一括大綱質疑を終結いたします。

よって、議案第57号ないし議案第62号の以上6件は総務・文教委員会に付託の上、審査することに決定いたしました。

●議長林 国夫君 次に日程の第23、議案第63号平成20年度美唄市一般会計補正予算(第4号)及び日程の第24、議案第6

4号平成20年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第2号)の以上2件を一括議題といたします。

本件に関し、提案理由の説明を求めます。
市長。

●市長桜井道夫君(登壇) ただいま上程されました各案件につきまして、提案理由を説明申し上げます。

初めに、議案第63号平成20年度美唄市一般会計補正予算(第4号)であります。

本件は、歳入歳出予算について補正しようとするもので、歳入歳出にそれぞれ170万円を増額補正し、補正後の予算総額を163億7,626万1,000円にしようとするものであります。

補正内容について、歳出から申し上げますと、農林費に美しい森林づくり基盤整備事業として、森林所有者が行う間伐の森林作業に関わる費用を計上いたしました。

一方、歳入につきましては、歳出計上額に対応する国庫支出金を計上し、財源対応をいたしました。

次に、議案第64号平成20年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第2号)であります。

本件は、歳入歳出予算について補正しようとするもので、歳入歳出にそれぞれ200万円を増額補正し、補正後の予算総額を37億2,450万3,000円にしようとするものであります。

補正内容について、歳出から申し上げますと、基金積立金には、前年度歳計剰余金の2分の1を下らない額を国民健康保険支払準備基金に積み立てる費用を計上いたしました。

た。

一方、歳入につきましては、歳出計上額に対応する繰越金を計上し、財源対応いたしました。

よろしくご審議をお願いいたします。

●議長林 国夫君 お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明ありました、議案第63号及び議案第64号の以上2件は、一括大綱質疑にとどめ、後ほど設置いたします特別委員会に付託の上、審査することにしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

これより、議案第63号及び議案第64号の以上2件について、一括大綱質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって、一括大綱質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第63号及び議案第64号の以上2件については、15人の委員をもって構成する、予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上審査することにいたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認め、議案第63号及び議案第64号の以上2件については、15人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました、予算審査特別委員会委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、

吉岡文子議員、森川 明議員、五十嵐聡議員、高田正則議員、高橋幹夫議員、阿部義一議員、長谷川吉春議員、米田良克議員、白木優志議員、小関勝教議員、土井敏興議員、本郷幸治議員、紫藤政則議員、谷村孝一議員、

内馬場克康議員の以上15人の議員を指名いたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました15人の議員を予算審査特別委員会の委員に選任することに決定いたしました。

●議長林 国夫君 次に日程の第25、認定第1号平成19年度美唄市一般会計決算認定の件ないし日程の第35、認定第11号平成19年度美唄市工業用水道事業会計決算認定の件の以上11件を一括議題といたします。

本件に関し、提案理由の説明を求めます。
市長。

●市長桜井道夫君(登壇) ただいま上程されました、認定第1号平成19年度美唄市一般会計決算認定の件、認定第2号平成19年度美唄市民バス会計決算認定の件、認定第3号平成19年度美唄市国民健康保険会計決算認定の件、認定第4号平成19年度美唄市

老人保健会計決算認定の件、認定第5号平成19年度美唄市下水道会計決算認定の件、認定第6号平成19年度美唄市土地区画整理事業会計決算認定の件、認定第7号平成19年度美唄市介護保険会計決算認定の件、認定第8号平成19年度美唄市介護サービス事業会計決算認定の件、認定第9号平成19年度市立美唄病院事業会計決算認定の件、認定第10号平成19年度美唄市水道事業会計決算認定の件及び認定第11号平成19年度美唄市工業用水道事業会計決算認定の件の以上11件について、一括提案理由をご説明申し上げます。

本件は、それぞれ地方自治法及び地方公営企業法の規定により、監査委員の審査意見を付して議会の認定を求めるものであります。

よろしくご審議をお願いいたします。

●議長林 国夫君 お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明ありました、認定第1号ないし認定第11号の以上11件は、一括大綱質疑にとどめ、後ほど設置いたします、特別委員会に付託の上、審査することといたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

これより認定第1号ないし認定第11号の以上11件について、一括大綱質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって、一括大綱質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

認定第1号ないし認定第11号の以上11件については、14人の委員をもって構成する、決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認め、認定第1号ないし認定第11号の以上11件については、14人の委員をもって構成する、決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました決算審査特別委員会委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、

吉岡文子議員、森川 明議員、五十嵐聡議員、高田正則議員、高橋幹夫議員、阿部義一議員、長谷川吉春議員、白木優志議員、小関勝教議員、土井敏興議員、本郷幸治議員、紫藤政則議員、谷村孝一議員、内馬場克康議員の以上14人の委員を指名いたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました14人の議員を、決算審査特別委員会の委員に選任することに決定いたしました。

以上をもって本日の日程は、全部終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

午前 11時23分 散会